

ドローンによる夜間農薬散布の 斑点米カメムシ類、イネ紋枯病に対する防除効果

1 背景・目的

病虫害防除は適期に農薬散布を行うことが重要であるが、天候に左右されることから、日中の限られた時間の中で適期防除が困難となる場合がある。一方、ドローンは自動操舵飛行ができることから、夜間にも農薬散布が可能であり、適期防除の時間帯が広がると考えられる。

そこで、ドローンによる夜間農薬散布の斑点米カメムシ類及びイネ紋枯病に対する防除効果を検証する。

2 技術のポイント

- (1) 夜間散布区は無処理区と比較して斑点米被害率、紋枯病の被害度がともに低減し、慣行の日中散布区と同等の防除効果が認められる(図)。
- (2) 天候によらず夜間には葉に結露が認められるものの、防除効果への影響はないと考えられる。

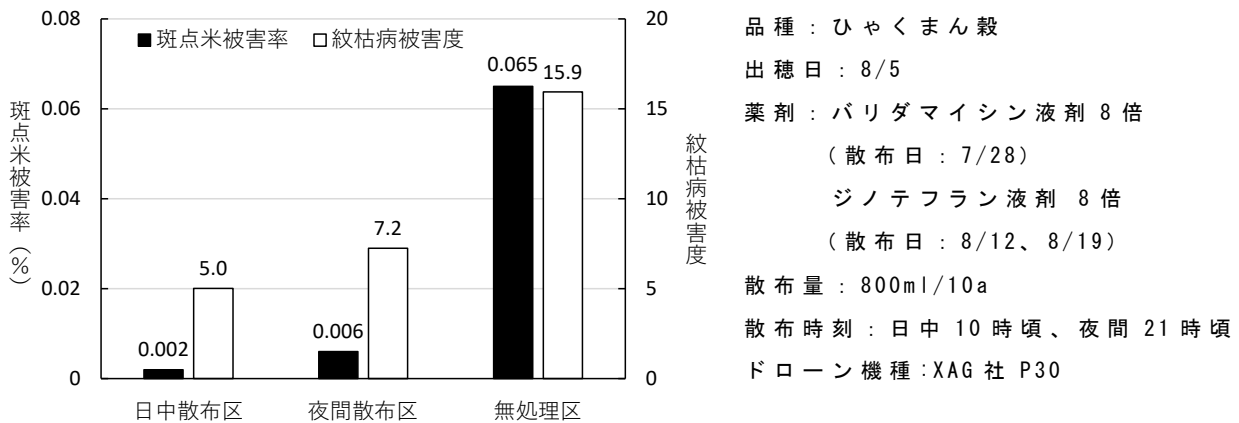


図 カメムシによる斑点米被害率と紋枯病被害度

3 成果の活用と留意点

夜間の無人航空機(ドローン等)の飛行は航空法で制限されていることから、実施にあたっては地方航空局長への飛行許可申請及び承認を受ける必要がある。また、「国土交通省航空局標準マニュアル(空中散布)」等の飛行マニュアル・安全ガイドラインを遵守する。

問合先：生物資源グループ TEL 076-257-6911
 担当者：新保佐知・塩谷捺美